

■科目名			
知的障害児の教育II			
Education for Children with Intellectual Disabilities			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	専修専門科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	6期		後
■担当教員			
雲井未敏			
■代表教員名及び連絡先等			
kumoi@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
水曜 4 限			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
知的障害児における支援方法の理論を理解し、教育実践に生かす視点を持つことを目的とする。障害児心理学の分野で確立され知られるようになってきた各種技法について、理論的背景を論じるとともに、教育場面での利用の例を紹介する。			
■授業の到達目標及びテーマ			
[到達目標] 1) 知的障害のある児童生徒の特性とニーズについて、心理学的知見を背景に説明できる。 2) 学習支援の手立てを知見に基づいて考えることができる。 [テーマ] 支援に関する方法論と特別支援教育における実践			
■授業計画			
以下の内容について扱うことを予定している。 (1) 本科目の目的・内容等のガイダンスと導入授業 (2) 知的障害児との関わりにおける基本的事項 (3) ニーズ理解と個別の指導計画の作成 (4) 知的障害児における学習指導の考え方 (5) 知的障害児における学習指導の実際 (6) 行動面におけるニーズの理解と支援の方法 (7) カウンセリングマインドと障害児支援 (8) コミュニケーションの支援とAAC (9) ソーシャルスキルトレーニングの理論 (10) ソーシャルスキルトレーニングの教育への利用 (11) 集団活動による支援の意義と方法 (12) 集団活動による支援の実際 (13) 個人への働きかけと環境へのアプローチ (14) 知的障害児における教育評価の方法 (15) まとめと確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
[予習] 授業内容の理解に必要かつ授業内では解説しない基礎的な事項を指示するので、授業前までに理解しておく。 [復習] 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。			
■受講要件			
「知的障害児の心理と発達」を修得済みであることが望ましい。			
■成績の評価基準			
確認試験（50%）、授業内課題への取り組み・提出状況（50%）			
■教科書・参考書			
教科書は特に指定せず、必要に応じて講義資料をmanabaで配信する。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
9. 学習者の心理・発達に関する理解			

【C学習者理解】子どもの発達や心理など，子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており，それらを生かして子どもの発達を分析することができる

11. 特別支援教育に関する理解

【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており，それを生かした具体的な指導・支援の在り方を構想することができる

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；

振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング（授業回数）

15回中8回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

授業形態（対面・遠隔）については、コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。